

## 2019年 第66回応用物理学会春季学術講演会における教材展示、応用物理学会将来基金募 金活動

2019年第66回応用物理学会春季学術講演会(東京工業大学大岡山キャンパス)開催中の3月9日～11日の3日間、北海道、東北、北陸・信越、東海、関西、中国四国、九州(各支部)、関東地区(応用物理教育分科会)の各地区で実施したリフレッシュ理科教室の為に企画作製した教材をJASPA EXPO会場1階に設けられた展示ブースにおいて展示し、リフレッシュ理科教室の実施をおこなっている関係者が分担して説明を行った。

好評をいただいているこれまでの教材に加え、新たに東海支部からはマグネットシートを利用して振動させる紙相撲、声の振動で小さな駒を動かすおもちゃ、関東地区からはライントレースを利用したピコピコランプ、LEDに光を当ててオルゴールを鳴らすLED発電機、九州支部からはゴムの動力によって磁石を回転させて発電する発電機などが展示された。

展示ブースは展示会会場の入り口付近にあり多くの会員の目に留まり、ブースに立ち寄り自ら動作させてみて大変興味を持つ会員の方も多くあった。自らも他の機会に理科教室を実施している方やアウトリーチのネタを探している方なども多く立ち寄られ、情報交換も活発に行われた。また、いつも感じることであるが、リフレッシュ理科教室活動に対する励ましの言葉を頂き、リフレッシュ理科教室の活動が会員から支援されている事が実感された。加えて、多くの方々からリフレッシュ理科教室の活動への支援として「応用物理学会将来基金募金」へのご寄付を頂いた。



※リフレッシュ理科教室教材展示・説明にご協力いただいた方々(敬称略)

藤嶋正英(一般財団法人材料科学技術振興財団)、原田知親(山形大学)、河村希典(秋田大学)、佐々木崇徳(八戸工大)、大兼幹彦(東北大学)、大音隆男(東北大学)、阿部貴美(岩手大学理工学部)、遠藤拓(日本大学)、黒田潔(玉川大学)、曾江久美(電機大)、曾根原誠(信州大学)、熊野英和(新潟大)、中野寛之(愛知工業大学)、池田浩也(静岡大学)、小野晋吾(名古屋工業大学)、有元圭介(山梨大学)、羽瀧仁恵(岐阜高専)、山田容士(島根大学)、原一広(九州大学)、堀江雄二(鹿児島大学)、平松信康(福岡大学)、香野淳(福岡大学)、眞砂卓史(福岡大)、藤城武彦(東海大学)